

円居

まどゐ

令和7年2月28日(金)
 備前市立備前中学校
 校長 藤森 卓麻
 0869-64-3365

(続)来年度に向けて・・・

PTAが新しい船出を目指します

― PTA組織改編 ―

昨年度4月当初に開かれたPTAの役員会でのこと。「年に数回のこういう会に出ただけでいいのでよろしくお願いします。」といった趣旨の説明が学校側からありました。数年前の、我が子の通う中学校の臨時保護者会を思い出しました。議題は、誰も立候補することがなく決まっていなかった期PTA会長の選任。夜、学校近くの中央公民館に同じ代の子どもの保護者が集まり、くじ引き大会が行われたのでした。「誰のためのPTAなんだ!」なんてことは言えずに黙ってくじを引いた気まずさを覚えています。

話は戻って・・・備前中の役員さんがくじ引きだったかどうかはわかりませんが、冒頭の言葉があるように、少なくとも望んで役員をしてくださってるわけではないのだなというのは感じました。ただ、皆さん責任を持って参加してくださいましたし、今年度、素材選びに関する新制服検討委員会にお誘いしたところ、積極的にご意見をいただくことができました。皆さんの「子どものために」という前向きなエネルギーを感じる事ができ、新しい可能性を探っ

ていきたいと思いました。まずは、「しないといけない人」が、「しないといけない時」に、「しないといけないこと」をやらされる、という形をリセットしたいと考えました。目的は、PTA活動の縮小や廃止ではなく、より主体的で充実した活動にすることです。「できる人」が、「できる時」に、「できること」を実施する。ということとです。さらに我々教職員と保護者の皆さんとの確かな連携を築いていきたいと考えます。質疑↓↑回答、不満↓↑弁解ではなく、お互いに意見を交換したり相談し合ったりという関係です。大々的なアンケートというわけではなく、ちよつとしたことをちよつとしたときにお聞きしたいという場面が今までもあったのは事実です。

二期期から、今までのPTAの役員さんから紹介していただいたり、そこからつながっていったりして集まった運営メンバーの皆さんと、活動方針や新しい会則等について話を進めてきました。新しいものが動き出す、となるとなんだか身構えてしまう方もおられるかもしれません。初めは運営委員さんだけの活動になるかもしれませんが、打ち上げ花火をバックに派手で賑やかな船出(もいいですが)でなくとも、確実に、どこまでも、そして「できる」が「やりたい」へと変わり、いつまでも進んでいける船出を目指します。

＊来週、新しいPTAの活動方針・会則等に関する臨時PTA総会を書面にて開催します。別添の案内(3月3日配付)を参照していただき、回答をお願いいたします。

■R7年度の教育課程(その2)

春々秋季の最終下校時刻↓17時30分に

今まで4月～10月の最終下校時刻は18時でした。近隣の中学校では備前中だけででしたが、来年度からはそれが17時30分になります。これは教職員の勤務時間(＊)になるべく近づけていくためのものです。

(＊)備前中学校教職員の勤務時間

8時15分～16時45分(原則)

あらためて「働き方改革」を考える

2019年、文科省が「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を策定し、学校においても「働き方改革」がスタートしました。さらにコロナ禍をきっかけに行事の見直し等、教職員の負担軽減のための取組が、全国的に進んだような気がします。「働き方改革」の本来の目的は、時短・教職員が早く帰ることではありません。最終的に子どもたちの教育活動の質の向上につなげることです。ですから「時短」「削減」に伴い、「なんのために」という目的や、物事の本質にあらためて目を向けていかないと、「働き方改革」ではなく、「働かない改革」に陥る可能性があります。おいしいと評判のパン屋さんがあります。店長一人で休むことなく頑張ってきたのですが、材料費の高騰に加え、他店との競争もあり、へとへとに疲れ切つてしまいました。そのせいか、なんとなくパンの質も落ちてきたようです。働き方改革の必要性に迫られた今、何を残して何を省きますか。

年度初めにこんなテーマについて教職員間で簡単な意見交換をしました。削減したのは残業時間。店長の体がもちません。そのためには生産性を向上させる必要があります。作業工程の見直しはもちろん、人を雇ったり機械を導入したり・・・その過程で商品の見直しや値上げも必要になるかもしれません。一方、絶対残したいのは「おいしいパン」。店長の「お客さんが喜ぶ良い商品を提供したい」という意欲と、おいしいパンを作り出す能力を最大限引き出すための残業時間削減です。



他校で見られる「定期テストの廃止」や「清掃」の削減などは、備前中ではあえてしません。時程や学校行事といった教育課程の見直し、ICTの導入・・・我々はその「働き方改革」が最終的に子どもたちのためになるのか、そこは工夫しながらも見誤ることなく進んでいきたいと考えます。

＊市教委からのお知らせにあったように、来年度から冬季に実施していた朝の部活動を原則行わないこととなります。地域移行がまだまだ不透明な中、部活動の時間を確保するためにも、併せて時程等を見直しました。本日配付された別紙をご覧ください。



備前中HPから「学校の様子」がご覧いただけます。

